

平成22年第1回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成22年第1回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議員名	党及び会派名
2 月 23 日	1	松野 豊	流 政 会
	2	酒井 睦夫	改革21市民クラブ
	3	森田 洋一	民主みらい
	4	中川 弘	流 政 会
	5	宮田 一成	流 政 会
2 月 24 日	6	田中 美恵子	改革21市民クラブ
	7	田中 人実	公 明 党
	8	松田 浩三	民主みらい
	9	藤井 俊行	民 主 党
	10	徳増 記代子	日 本 共 産 党
2 月 25 日	11	小田桐 仙	日 本 共 産 党
	12	関口 和恵	公 明 党
	13	戸部 源房	流 政 会
	14	乾 紳一郎	日 本 共 産 党

質問事項	要 旨
<p>1 今後のまちづくりビジョンについて市長に問う</p>	<p>(1) 1月23日の毎日新聞に、「流山都民：急増 TX開業4年半、市人口1万人増える」という記事が掲載された。とりわけ注目すべきは、生産人口が急増したことであるが、その要因について問う。</p> <p>(2) 今後、35～39歳の子育て世代に、「流山に住み続けたい」と感じていただけるような市の方針及び具体的な施策について問う。</p>
<p>2 シティセールス戦略プラン策定について</p>	<p>(1) マーケティング課の前身は、平成15年10月に企画部内にマーケティング室を設置した事に始まり、今年で7年目となる。昨年4月からは、課内にシティセールス推進室を設置し、1年が経過しようとしているが、シティセールス戦略プランの策定状況について問う。</p>
<p>3 人材育成基本計画の策定について</p>	<p>(1) 昨年12月定例会における一般質問で、市長より「人材育成基本計画の見直しをする」との答弁をいただいたが、その後の進捗状況について問う。</p>
<p>4 市内各出張所の利用について</p>	<p>(1) 市内各出張所の利用状況について、以下3点について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 各出張所別年間月別利用者数について (平成20年度決算ベース)</li> <li>イ 各出張所別人員配置状況及び人件費について (平成20年度決算ベース)</li> <li>ウ 各出張所別固定費（家賃・光熱費等）について (平成20年度決算ベース)</li> </ul>

質問事項	要 旨
1 「流山市総合計画後期基本計画」の市民向け説明会について	<p>(1) 「流山市総合計画後期基本計画」は、パブリックコメント等を実施し、市民の意見を取り入れながら策定されたが、いよいよ計画のスタートする平成22年度にあたっては、行政が自ら市民向けに分かり易い説明会を実施してはどうか。</p> <p>(2) コンサートや他の発表会などと合同でイベントを盛り上げてはどうか。</p>
2 流山市版「事業仕分け」について	<p>(1) 平成21年第4回定例会における一般質問の答弁を受け以下のとおり問う。</p> <p>ア 平成21年度に実施した流山市版「事業仕分け」をどのように評価しているのか。</p> <p>また、本年8月に実施予定の「事業仕分け」はどのようなプロセスで実施するのか。</p> <p>イ 通称「仕分け人」は、学識経験者と行財政審議会の委員を前提に検討するとあったが、これらの区分とは別に、公募などで募集する一般市民枠を設定する考えはないか。</p>
3 財政白書について	<p>(1) 今回策定された財政白書の市民への公表、説明、配布についてはどのような方法を考えているのか。</p> <p>(2) 財政白書の内容について</p> <p>ア 他市の白書をどのように研究し、本市の策定に生かしたのか。</p> <p>イ 新公会計制度の説明と活用はどのように図っていくのか。</p> <p>ウ 財政白書の改訂版の発行は現時点でいつ頃を想定しているのか。</p>
4 超高齢化社会に対応した福祉施策の推進について	<p>(1) 介護保険制度の対象とはならないが、サポートを必要とする高齢者が今後激増すると予想され、このままでは行政の対応にも限界があると考え。そこで以下について問う。</p> <p>ア 自治会と連携した対応策を検討してはどうか。</p> <p>イ NPOと連携した対応策を検討してはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 危機管理対策について</p>	<p>(1) 裁判外紛争手続き制度（ADR）について                      ア 複雑化する社会背景の中、契約等によるトラブルが多発している。そこで、民事裁判などの厳格な裁判制度ではなく、市民がより身近な司法制度として利用できる裁判外紛争手続き制度の事例を積極的に研究し、市民に情報提供してはどうか。</p> <p>(2) 学校現場における危機管理体制について                      ア 外国人児童・生徒が抱える大きな問題に、言葉の壁がある。そこで、日本語ボランティア支援制度を活用してコミュニケーションを充実することにより、いじめや不登校防止に役立ててはどうか。</p> <p>(3) 災害時における避難導線の確保について                      ア 首都圏直下型地震など、災害時の避難路について、どのようにその導線を確保するのか。また、緊急車両の乗り入れが困難な小・中学校に対して、避難所など防災拠点としての安全確保はどのように図られているのか。</p>
<p>2 上下水道事業の垂直統合の可能性について</p>	<p>(1) 民間参入による上下水道事業の垂直統合について、本市での実現性を含め、現状でどのように考えているか。</p>
<p>3 マーケティング戦略について</p>	<p>(1) パブリシティの重要性について                      (2) ロケ地の誘致推進について                      (3) 観光ビジネスについて                      ア 観光マーケティングの重要性について                      イ 観光に伴う交通網の充実について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 当市の広報紙の配布方法の改善について問う</p>	<p>(1) 現在の広報紙の配布方法は、新聞折込を中心とし公共施設や駅等における配布を組合せた形となっている。昨今はインターネット等の普及により新聞を定期購読しない家庭も若い世代を中心に広がっており、情報提供の公平性の担保という点で問題が生じていると考える。議会報も同様の問題を抱えており、共通で利用できる新たな取り組みが必要と考える。</p> <p>ア 現状の広報紙の配布方法について当局としてどのような課題・問題があると考えているか。当局の現状認識について問う。</p> <p>イ 安全・安心メールと同様の仕組みを用い、広報紙の発行日に合わせその主要項目を希望者へ電子メールにより配信する方法も有効と考えるが実施する考えはないか。</p> <p>ウ 利用者が容易に希望する広報紙を閲覧できるよう主要項目を併せて表示すべきと思うがどうか。</p>
<p>2 南部地域の道路整備について問う</p>	<p>(1) 埼玉県側の大規模ショッピングセンターの相次ぐ開業などに伴い益々激しさを増している流山橋の渋滞、建設まで多くの課題を抱える流山新橋の建設、目前に迫る都市計画道路3・5・16号線の開通に伴う迂回交通の発生など多くの課題を抱える南部地域の道路整備について問う。</p> <p>ア 本来道路はネットワークを形成しなければ意味がないが、南部地域における道路ネットワークは、どうあるべきと考えているか。その基本的な考えについて問う。</p> <p>イ 都市計画道路3・5・16号線の開通に伴い、当該道路の交通量がどの様に変化すると予測しているか。また、これに伴い現在同道路を運行する民間バス路線のルート変更などはあるのか。</p> <p>ウ 都市計画道路3・3・2号線の開通までの現在の状況と今後の予定はどのようになっているか。</p>
<p>3 神明掘改修工事完了見通しについて</p>	<p>(1) 南流山地区の浸水対策として欠かすことの出来ない神明掘の改修であるが、松戸市のケヤキ通りへの架橋準備との兼ね合いで問題が生じていると報じられている。神明掘の予定通りの改修完了に向け当局としての見通しと今後の対応について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 江戸川河川敷の屋外 体育施設の今後につ いて	(1) 河川敷野球場は、屋外体育施設として、市民に利用されているが、今後の当該施設の存続について、市は、どのように考えているのか。
2 松戸市六和クリーン センターについて	(1) 本市、区画整理地区内の木地区に隣接する松戸市六和クリーンセンターは、焼却処理施設として活用するよう位置づけられているようであるが、その状況を把握すべきと思うがどうか。
3 住民サービスについ て	(1) 大手コンビニエンスストアの千葉県市川市、東京都渋谷区、三鷹市の一部の店舗で、住民が端末を使って住民票の写しや印鑑登録証明書の交付を受けられるサービスが始まったが、本市における導入の可能性について問う。
4 火気使用が可能な公 園の施設整備につい て	(1) バーベキュー等火気使用が可能な公園の施設整備について、本市の考えを問う。
5 南流山地区での交通 問題について	(1) 流山8丁目交差点付近の交通渋滞等により、南流山7、8丁目地先の住宅地を通過する車両が多く見受けられるが、その交通安全対策について問う。

質問事項	要 旨
1 環境行政について	<p>(1) 横浜市では、既にごみ分別違反者から過料を徴収する制度を創設しており、また、千葉市でも同様な方針と聞いているが、どのように評価しているのか。</p> <p>(2) 本市も同様な制度を導入する考えはないのか。</p> <p>(3) 本市は、人口の増加に伴い今後ごみ量の増加が見込まれており、ごみ削減努力が必要と考える。 本市では、どのような削減策を考えているのか。</p>
2 認知症サポーター制度について	<p>(1) 「認知症サポーター」及び「認知症サポーター養成講座」について問う。</p> <p>ア 本市が行っている認知症サポーター養成講座の開催状況と受講者状況について</p> <p>イ 受講者は講座修了後どのような活動を行っているのか。</p> <p>ウ サポーター活用策等を含め、行政支援を考えるべきと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 行財政改革について	<p>(1) 昨年行われた「事業仕分け」の結果を市の公報で公表するまでのプロセスや問題点をどのようにとらえ、来年度に予定されている「事業仕分け」にどのように活かしていくのか問う。</p>
2 コミュニティ行政について	<p>(1) 行政連絡員制度の廃止について説明会がおこなわれたが参加者の意見はどうだったのか。また、意見に対する市の見解及び対応策について問う。</p> <p>(2) 新年度に予定されている「地域まちづくり協議会」について事業の概要を問う。</p> <p>(3) 市民との協働のまちづくりには自治会組織が大きな役割を果たす。しかし、地域によっては自治会加入率が低く自治会役員の世代交代に支障を来している地域もある。自治会の重要性と自治会加入率の向上策について見解と具体的対応策について問う。</p>
3 南部地域の諸課題について	<p>(1) 流山おおたかの森駅や流山セントラルパーク駅周辺の開発が遅れている現在、商業施設立地のポテンシャルを持つ南流山駅周辺の都市計画の商業地域を拡大できるような再開発への誘導策を行うべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 松戸駅発、南流山経由、江戸川台駅行きの京成バスを増便し、流山おおたかの森駅行きにするなどルート変更しバス利用者の利便性の向上を図るようバス会社と交渉する考えはないか。</p> <p>(3) 新東谷調整池の底地と隣接する多目的広場の活用及び管理運営主体について見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市有地の適正な管理について</p>	<p>(1) 北海道砂川市の神社をめぐる訴訟で最高裁大法廷は市有地を無償提供している市の行為を違憲と判断を示した。そこで本市においての状況はどうか。                      ア 本市では市有地を民間に貸し付けている事例はあるか。                      イ 宗教施設についてはどうか。                      ウ 砂川市のような状況となった場合、市の対応としてどのようなことが考えられるか。</p>
<p>2 (仮称) 流山市文学賞の創設について</p>	<p>(1) 多くの自治体では地域文学賞を制定し文芸作品や小説に親しむ風土を醸成しようと取り組んでいる。                      ア 生涯学習や産業振興の観点から効果的な施策であると考えるが本市の見解はどうか。</p>
<p>3 新しい課税標識の導入について</p>	<p>(1) 課税標識である市町村ナンバープレートについて                      ア 課税標識の種類と交付状況及び費用等の現状について問う。                      イ 地域ブランドを喚起するために他市のようにご当地ナンバーを検討すべきと思うがどうか。</p>
<p>4 駅の自由通路などの管理と安全確保について</p>	<p>(1) 駅の自由通路にはバリアフリー化の推進に伴いエレベーターやエスカレーターが設置され、快適に移動ができるようになるが、反面、管理面での課題や安全確保の面での課題が生じる。                      ア 深夜・早朝の安全対策は構築されているか。                      イ 流山おおたかの森駅エスカレーターで女性が転倒、負傷し、市が賠償したという新聞報道があった。再発防止に向けた本市の対応について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市内のゴミ集積所について	<p>(1) 既成市街地のゴミ集積所の現状について問う。</p> <p>(2) 区画整理地区内のゴミ集積所の現状について問う。</p> <p>(3) カラス対策や美観の観点からボックス型の折り畳み式ゴミ集積所の推進を図るため、自治会等に補助金を交付すべきではないか。</p>
2 障がいを持つ児童や生徒の支援策について	<p>(1) 教育現場において、障がいを持つ児童や生徒の現状と、サポート体制の現状について問う。</p> <p>(2) 階段昇降機や電子黒板等の補助的設備を充実すべきと考えるがどうか。</p>
3 東深井・市野谷 2 号幹線の安全対策について	<p>(1) 東深井・市野谷 2 号幹線とプライムガーデン初石前の市道 25012 号線との交差点に押しボタン式信号機や横断歩道の設置を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 通学路であるにもかかわらず、現在の制限速度は 50 km/h であり大変危険性が高い。そこで、関係機関に対して速度制限を 40 km/h とするように積極的に働きかけるべきと考えるがどうか。</p>
4 契約の在り方について	<p>(1) 市が発注する建設工事の契約に関して、受託先事業者の雇用条件や教育体制をどの様に捉えているのか。</p> <p>(2) 国では昨年、「公契約法の制定を求める請願」が採択され「公契約法」成立の機運が高まっているが、業務委託事業部分については、地域特性に合わせて市の条例で制定すべきと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 税制について	<p>(1) 2010年度の政府税制大綱における扶養控除の廃止・縮小の影響について</p> <p>(2) 納税緩和措置について</p> <p>ア 国の「税の滞納処分の停止に関する事務運営指針」をどう生かしているのか。</p> <p>イ 税制・社会保障制度の改悪で、最低生活費にまで負担が及んでいるが、徴税強化策だけではなく、納税緩和措置を知らせ、適切に実施すべきではないか。</p>
2 「流山市ふれあいおふろの日」について市長に問う	<p>(1) 流山版事業仕分けは、ふれあいおふろの日事業を廃止としたが、「おふろの日を廃止しないで」という多くの市民の願いにどうこたえていくのか。</p>
3 介護保険について	<p>(1) 介護保険を申請し、認定されると、介護サービスの利用まで、2ヶ月近くかかるが、早急に介護サービスの利用が必要な場合の具体的な方法を知らせていくべきではないか。</p>
4 都市計画道路3・4・10号線について	<p>(1) 本年1月30日の「都市計画道路3・4・10号市野谷向小金新田線事業にかかわる現況報告会」について、住民の質問や意見についてどう受け止めていくのか。</p> <p>(2) 住民の合意なしに事業を進めるべきではないと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 教育行政について	<p>(1) 『真心』教育の実践から7年。これまでの実践をどう総括し、今後の課題解決にどう取り組まれるのか、教育長に問う。</p> <p>(2) 公立幼稚園の民営化をはじめ、行財政『改革』の先導的役割を担ってきた結果、学校現場や生涯教育の実践にひずみをきたしていると考えがどうか。</p> <p>(3) 「子どもの貧困」に対する施策強化や教職員の長時間過密労働の改善、公民館を活用した社会教育の強化などに取り組む必要があると考えがどうか。</p> <p>(4) 市民総合体育館建て替え工事に何故、PFIを導入しようとするのか。</p>
2 子どもの福祉について	<p>(1) 保育行政をめぐる諸課題について問う。</p> <p>ア 保育設置基準の緩和は、子どもの発達保障に関わる重大問題と考えがどうか。</p> <p>イ 公立保育所の民営化について問う。</p> <p>(2) 経済的支援の強化について問う。</p> <p>ア 学童保育の保育手当制度を拡充すべきだがどうか。</p> <p>イ 児童扶養手当について問う。</p>
3 中部地域のまちづくりについて	<p>(1) 東初石2丁目のまちづくりについて、特に守谷県道東初石2丁目91番5地先で住宅建設計画があると聞いているが、適切な道路配置を行い、北側戸建住宅街と守谷県道との接続を確保するよう指導すべきと考えがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 環境行政について	(1) 地球温暖化防止に関する本市のCO2削減策の現状と今後の取り組みについて問う。
2 健康施策について	<p>(1) がんの予防方法や正しい知識を学ぶために学校現場でがん教育を行うべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 子宮けいがんの予防ワクチン接種について市として負担軽減をすべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 文部科学省から示されている「学校アレルギー疾患に対する取り組みについて」のガイドラインに基づく本市の施策の進捗について問う。</p>
3 介護保険制度について	(1) 認知症を抱える家族による「コスモスの会」があるが、本市には要介護者全般にわたる家族の会が無い現状である。そこで要介護者を介護している家族や介護に関心のある者が悩みを打ち明けたり、相互の親睦を図るとともに、市や関係団体との連携を密にして介護保険制度全般の充実を図るため「介護家族の会」が、ぜひとも必要と考えるが見解を問う。
4 交通安全対策について	(1) 初石の中央郵便局前の道路（都市計画道路3・5・22号線）は、流山おおたかの森駅の開設や周辺道路網の整備等により利便性が高まり車の交通量が増大している。歩行者の安全対策として地域住民の方々から現行の制限速度50キロメートルから40キロメートルへの変更と、郵便局交差点の信号機の設置について強い要望が出ているが、市の取り組みについて問う。

質問事項	要 旨
<p>1 つくばエクスプレス東京駅延伸と沿線整備について</p>	<p>(1) 東京駅延伸の現状と見通しについて                      ア 東京駅延伸には、国が平成 17・18 年度に実施した運輸政策審議会答申第 18 号フォローアップ調査で「乗客 27 万人達成」「経営基盤の安定（黒字）」の 2 つの条件が付いていたが、現状と課題について問う。                      イ 東京駅延伸の要望は、主に千葉県・茨城県の両県の 5 市長及び、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟で展開してきたが、現状と課題について問う。</p> <p>(2) 本市 4 施行地区の課題と見通しについて                      ア 本市 4 施行地区は、本年で事業認可から 11 年に達し、平成 21 年度の事業見通しも約 48.4%と本格化しつつあるが、昨年の世界不況を踏まえた課題と見通しについて問う。</p>
<p>2 流山橋改修と江戸川新橋について</p>	<p>(1) 流山橋の耐震改修について                      ア 国土交通省は、国内に約 15 万基の橋が整備されているが、121 基が崩壊寸前、6 割以上が補修計画がないと公表した。流山橋は、橋の寿命が 50 年と言われている中、建設後 45 年を経過しているが現在の耐震改修計画について問う。</p> <p>(2) 江戸川新橋の建設について                      ア 江戸川新橋の建設は、主な論点の 1 つである「将来交通量の推計」について、市が主催した住民対話集会の中で千葉県担当者より具体的な推計値の説明が行われたと聞いているが、その明細と影響について問う。                      イ 江戸川新橋建設は、平成 21 年 8 月、周辺自治会・住民との覚書の締結、将来交通量が提示され、課題が解決されたが、今後の見通しについて問う。</p>
<p>3 東武野田線運河駅の橋上化と利根運河の観光事業について</p>	<p>(1) 運河駅の橋上化と周辺開発について                      ア 東武野田線運河駅の橋上化と周辺開発は、平成 23 年度完成見込みと聞いているが、地権者の現状と見通し及び概略について問う。</p> <p>(2) 利根運河の浚渫事業と観光事業について                      ア 利根運河の浚渫事業は、国土交通省の「水環境改善事業」の総事業費約 8 億円、期間 6 年間（平成 20 年度～25 年度）の中で完成する計画で、柏市から実施されて来ていると聞いているが、その目的と事業概要について問う。                      イ 利根運河は、本年 2 月に通水から 120 年を迎え、記念事業として、利根運河交流館で写真展「利根運河とボート遠漕」等が開かれたと聞いているが、今後、9ha のスーパー堤防の活用・船便等を含めた観光事業の推進について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 保健予防事業について問う	<p>(1) 保健予防活動を推進する立場から、特定健診・特定保健指導の現状と問題点をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 特定健診等の充実事業における検査項目の削減は、市民の健康維持、早期予防の観点から問題があるかどうか。</p>
2 南部地域のまちづくりについて	<p>(1) 三輪野山地域の都市軸道路の計画見直しについて</p> <p>(2) 平成22年度における三輪野山地域の水害対策について</p> <p>(3) 南流山駅入口交差点への横断歩道と歩行者用信号の設置について</p>
3 平成22年度の市政方針について市長に問う	<p>(1) 「景気の二番底」が心配される深刻な経済不況と市民の暮らしの現状、地方政治をめぐる情勢をどう認識し、政治のあるべき姿、自治体の役割をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 平成22年度の基本方針について問う</p> <p>ア 貧困と格差の是正、子育て・介護など市民福祉の充実をどうすすめるのか。</p> <p>イ 新線沿線巨大開発のムダをどう見直し、地域の産業や雇用を守る循環型経済をどう築いていくのか。</p> <p>ウ 「市民福祉の充実を図る」ための職員体制をどう確立し、行政のムダをどう見直していくのか。</p>